

マクロ情報

日銀短観 速報 (2017年9月調査、10月2日発表)

① 全体のD I

(良い-悪い・%ポイント)	6月時点		今回	
	最近	先行き	最近	先行き
製造業	17	15	22	19
素材業種	17	9	21	14
加工業種	17	18	23	21
非製造業	23	18	23	19
全産業	20	16	23	19

- 大企業製造業の最近D Iは22となり、前回最近17から+5、前回先行き15から+7と大幅に上昇。今回先行きは19で-3を見込む。
- 非製造業最近D Iは23で、前回先行き18を5p上回ったが、前回最近23と同水準だった。
(※最近は回答時点、先行きは3カ月後を示す、以下同)

② 業種別のD I

(良い-悪い・%ポイント)	6月時点		今回			
	最近	先行き(B)	最近(A)	A-B	先行き(C)	C-A
建設	48	40	48	8	35	-13
対事業所サービス	33	31	40	9	33	-7
生産用機械	23	28	36	8	38	2
はん用機械	29	29	35	6	33	-2
不動産	35	28	35	7	30	-5
対個人サービス	35	25	35	10	30	-5
石油・石炭製品	25	0	31	31	19	-12
業務用機械	15	25	30	5	30	0
木材・木製品	24	18	29	11	18	-11
化学	16	9	27	18	18	-9
電気機械	16	23	27	4	26	-1
情報サービス	24	23	27	4	20	-7
非鉄金属	34	20	23	3	14	-9
窯業・土石製品	24	9	22	13	16	-6
卸売	13	9	21	12	15	-6
通信	25	19	19	0	19	0
食料品	21	15	18	3	16	-2
自動車	16	11	18	7	14	-4
運輸・郵便	19	8	18	10	11	-7
物品賃貸	17	20	15	-5	18	3
鉄鋼	16	19	12	-7	14	2
紙・パルプ	7	-3	10	13	3	-7
金属製品	10	10	8	-2	5	-3
小売	10	11	8	-3	13	5
繊維	3	0	6	6	3	-3
宿泊・飲食サービス	13	11	6	-5	7	1
電気・ガス	-3	-3	3	6	5	2
造船・重機等	-11	-11	-14	-3	0	14

※業種別のDIは今回調査の「最近」が高い順

- 最近(A)が好調なのは建設、対事業所サービス、生産用機械など。
- 業況が見通しに比べて大きく改善(A-Bが大幅にプラス)したのは石油・石炭製品、化学、窯業・土石製品など。
- 一方、見通しに比べて悪化したのは鉄鋼、物品賃貸、宿泊・飲食サービスなど。
- 今回、先行きが最近より改善する(C-Aが正の値)と見ているのが造船・重機等、小売、物品賃貸など。
- 逆に悪化する(C-Aが負の値)と見ているのが、建設、石油・石炭製品、木材・木製品など。

③ 為替の前提、収益計画及び設備投資計画等

製造業の為替前提(2017年度、1ドル=円)

6月時点			今回		
通期	上期	下期	通期	上期	下期
108.31	108.36	108.27	109.29	109.46	109.12

経常利益計画(2017年度、前年度比、%)

	6月時点	
	今回	前年
製造業	4.7	-3.3
素材	7.1	1.5
加工	3.7	-5.5
非製造業	-1.6	-2.7
全産業	1.3	-3.0

設備投資計画(2017年度、前年度比、%)

	今回	
	前年同期	前年
製造業	14.1	12.7
非製造業	4.0	2.9
全産業	7.7	6.3

- 2017年度の製造業の為替前提は1ドル=109.29円で、前回の108.31円から若干だが円安方向に修正された。
- また、2017年度の経常利益計画は、全産業で前年度比+1.3%。うち製造業+4.7%、非製造業-1.6%。前回から製造業が大幅に上方修正されている。
- なお、製造業の設備投資の計画は前年度比+14.1%。昨年の同時期(+12.7%)よりも高く、過去(2000~2016年度)の平均+8.4%も大幅に上回る水準。

データは全て大企業、データ出所：日本銀行